

令和7年 秋の観光シーズンにおける 観光課題対策について

- | | | |
|---|------------|---------------|
| 1 | 検討の視点及び全体像 | (1 ~ 6 ページ) |
| 2 | 分野別の観光課題対策 | (7 ~ 15 ページ) |
| 3 | 地域別の観光課題対策 | (16 ~ 20 ページ) |
| 4 | モニタリング項目等 | (21 ~ 25 ページ) |
| 5 | 市民意見募集の結果 | (26 ~ 30 ページ) |

令和7年9月26日
市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム
(京都市産業観光局観光M I C E 推進室)

1 検討の視点及び全体像

- ・ 観光課題対策の位置づけ (2ページ)
- ・ 令和6年度対策の実績 (3ページ)
- ・ 令和7年度対策の視点 (4ページ)
- ・ 令和7年度対策の全体像 (5ページ)
- ・ 【参考】京都観光デジタルマップ (6ページ)

「京都観光・MICE振興計画2030」(仮称)において京都観光が目指す姿(最新案)

多彩な共創で未来を切り拓く観光・MICE

- 人々の生活に楽しみや喜び、感動をもたらすのみならず、気づきや学び、癒し、活力などをもち、人々の心や人生を豊かにする「観光の本質」を、観光客のみならず、市民や観光事業者・従事者も共に享受できる観光・MICEを目指します。
- 市民生活との調和・両立の下、市民が豊かさを実感できる持続可能な観光・MICEを目指します。
- 多様で奥深い京都の魅力を活かした観光・MICEを振興し、多彩な人々を呼び込むとともに、何度も訪れたい、長く滞在したい、さらには住みたいような京都観光を推進し、共創を通じた新たな文化や産業の創出、京都の魅力・活力の向上につながる観光・MICEを目指します。
- これらを通じて、国際文化観光都市・京都として、多彩な共創で未来を切り拓く観光・MICEを目指します。

3つのプロジェクト

市民生活と観光をつなぐプロジェクト

暮らすように旅をつむぐプロジェクト

MICEでつどうプロジェクト

観光課題への対策をより一層強化するとともに、市民が観光の効果をより実感できるような施策を推進するなど、観光に対する市民の共感の輪の拡大に取り組んでいきます。

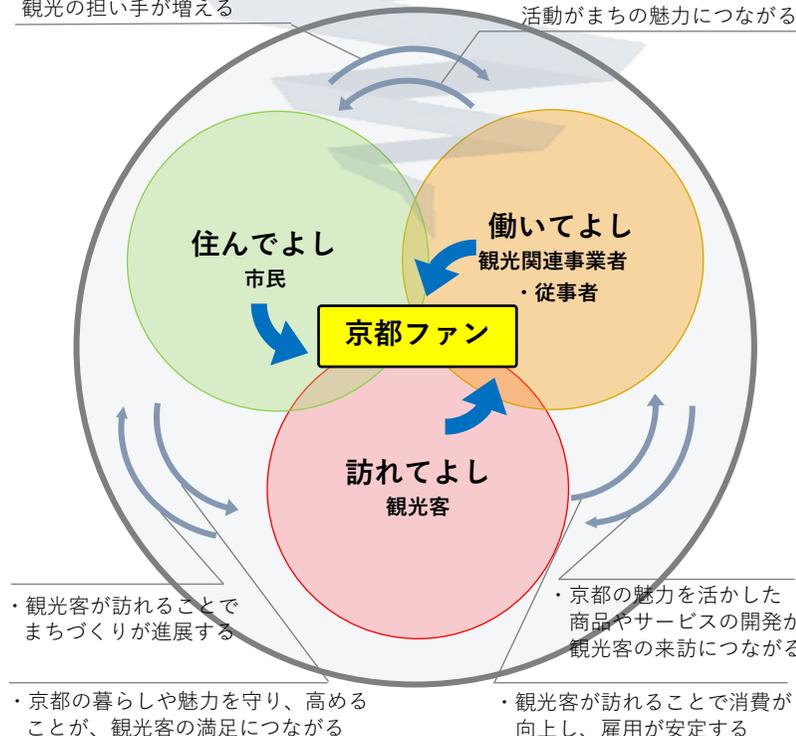
さらに、「持続可能な観光」の基盤になる取組として、観光関連事業者・従事者、観光客、市民の三者がお互いに尊重しあう関係づくりを促し、その定着を図ります。

<観光・MICEが目指す姿のイメージ>
京都の未来を切り拓く

京都の魅力・活力の向上

多彩な共創

- ・観光産業が活性化することで観光の担い手が増える
- ・観光が地域の経済や雇用の活性化につながる
- ・景観や環境に配慮した事業活動がまちの魅力につながる



【令和6年秋・令和7年春の対策＜視点＞】

- 市民生活と調和・両立した観光の実現に向け、着手可能なあらゆる施策に着手。
- 市民意見結果や関連部局の課題認識や区役所・支所に届いている地域の声も踏まえ、全市的な対策に加え、観光課題が特に顕在化している5地域（東山・嵐山・祇園・京都駅・伏見稻荷）の対策を実施。

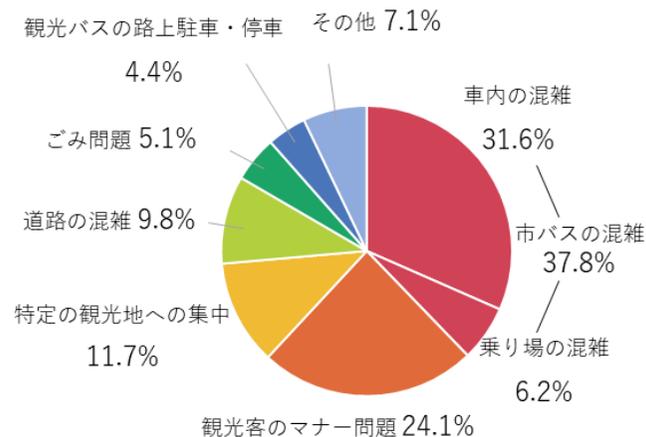


【対策の主な実績】

- とっておきの京都エリアでは、日本人観光客が20%増加。嵯峨嵐山エリアでは、嵯峨エリアの日本人観光客が30%増加
- 社会実験を行った東山地域では、東大路通南行の旅行速度が総じて一定の改善。
- 観光バスの路上滞留対策に係る現地啓発については、啓発件数が前年同期比で減少（御池通：▲18%等）
- パークアンドライド駐車場については、秋、春ともに前年同期比約2.3倍の利用
- 清水坂観光駐車場の完全予約制導入により、五条坂の混雑が緩和。（上り・下り時間が概ね▲50%）
- 観光特急バスは、11月平均で3,000人/日に迫る利用実績（最も多い日で4,000人近くの利用）
- 京都駅前D2のりば（清水寺方面）の待ち時間は、各取組の相乗効果により概ね10分以内（最大でも15分程度）
- 地域と連携した散乱ごみ対策、スマートごみ箱の設置等により、散乱ごみがほとんど見られなかった。

【市民・事業者等から寄せられた声】

- 混雑が常態化しており、地域の伝統文化が失われることを懸念。観光客がいない地域もあり、更に魅力を発信すべき。
- 市バスが混み過ぎており、乗れないことがある。もっと市バスを増便してほしい。
- コインロッカーや手ぶら観光サービス窓口を新設、宿泊施設で大型手荷物の配送手続きができればよいのではないか。
- 京都駅構内でもっと分かりやすく案内サイン等を設置してほしい。
- ルールやマナーを様々な発信媒体や多くの機会・場所で周知すべき。ゴミ箱の設置がもっと必要。



グラフ：市民意見募集の結果（「特に印象に残った観光課題」）
⇒詳細は26～30ページ参照

【令和6年度の総括】

- ・ 特定の観光地に観光客が急増する中において、関係部局による連携の下、時期・時間・場所の分散化や市バスの混雑対策、マナー啓発など、**喫緊の観光課題に対応する形で網羅的に対策を講じたことで、市民生活への影響の抑制・未然防止に一定寄与したものと認識。**
- ・ 一方、市民・事業者から寄せられた声を見ると、**主要観光地を中心に市民生活への影響が懸念される状況**にある。
(3ページ及び26～30ページ参照)
- ・ これらを踏まえ、効果を得られた対策の充実はもとより、観光客の動向を踏まえつつ、**観光客、観光事業者・従事者等、市民のそれぞれの視点から、より効果的な対策を講じていく必要性を認識。**



【令和7年秋対策検討の視点】

- ・ **市民・観光客双方にとっての満足度向上を目指し、**府市連携の強化等による広域的な分散化を更に進めるとともに、市民生活への影響の抑制・未然防止に資する対策の推進及び情報発信の強化に力点を置く。
- ・ **観光客、観光事業者・従事者等、市民の3者がお互いを尊重しあえるよう、**観光に対する市民共感を広げつつ、地域と連携した対策を継続するとともに、観光客に対しては、地域に配慮した意識・行動の普及・定着化を進める。
- ・ 持続可能な京都観光の実現に向け、常に改善点を模索しながら、より効果的な対策を講じ続けることはもとより、**各分野における定量的なモニタリング手法を検討・確立し、精度の高い現状把握や効果の測定・検証を行い、今後の事業にいかしていく。**

各分野の主要施策（令和7年度当初予算ベース）

課題及び対策の区分		事業名（※）	事業数	計 （ ）は観光庁補助額
混雑対策	観光地の混雑対策	・府市連携による周遊観光「まるっと京都」の展開 ・局所的な混雑が発生している嵐山エリア内の混雑緩和 等	11事業	123,200千円 (1,600千円)
	道路の混雑対策	・観光バス駐車場の満空情報共有システムの構築 ・東大路渋滞緩和に向けた迂回誘導の促進 ・清水坂観光駐車場の完全予約制の継続実施 等	8事業	132,388千円 (24,793千円)
	市バスの混雑対策	・「観光特急バス」の利用促進 ・清水道・五条坂（南行）停留所の運用見直し（試行実施） 等	8事業	793,428千円 (23,921千円)
	手ぶら観光の推進	・京都駅構内のコインロッカー情報等の一元化発信 ・京都駅周辺の窓口を対象とした事前予約システムの導入 等	6事業	72,200千円 (-)
	京都駅一極集中の緩和	・京都駅案内表示の充実 ・関西圏における京都駅を経由しない入洛ルート等の情報発信の強化 等	2事業	1,376,200千円 (-)
マナー啓発・散乱ごみ対策		・旅マエから旅ナカまでのマナー啓発 ・地域・事業者との3者連携による散乱ごみ対策 等	6事業	139,938千円 (-)
京都観光モラルの普及		・観光客による「京都観光モラル」宣言普及促進事業 等	4事業	24,000千円 (7,818千円)
計（【参考】令和6年度：35事業、約19億1,800万円）			45事業	2,661,354千円 (58,132千円)

※ 市バスのリアルタイム運行情報の発信（446,490千円）、バスロケーションシステムの更新（156,904千円）、京都駅新橋上駅舎・自由通路整備事業（1,267,600千円）等のハード事業を含む。

【宿泊税について】

- 「持続可能な観光」の実現に向けた取組の財源を確保するため、税率を引き上げる条例改正案が令和7年8月市会で可決。令和7年8月現在、総務大臣協議中。
- 令和8年3月の施行に向け、以下の周知・広報の取組を実施予定
 - ・ 市民・観光客それぞれに向けた用途周知動画を作成し、京都市情報館やSNSで発信
 - ・ チラシ、三角POP等の広報物の刷新（9月末を目途に全宿泊施設に配布）
 - ・ ポスターやデジタルサイネージの主要鉄道駅等への掲出（10月以降）
 - ・ 市民しんぶん10月号（全市版）への特集記事掲載



宿泊税の活用動画（イメージ）

目的 混雑状況の見える化・観光の分散化等

掲載内容

- 観光スポット情報：市内の神社仏閣やおすすめ観光スポット
- 駐車場情報：市内一部の一般車及び観光バス駐車場の位置・満空情報
- 観光マナー情報：公衆トイレやゴミ箱、喫煙所等情報
- ルート検索：現在地から目的地までの最適ルート検索機能 等

- 混雑情報：市内観光地等の混雑状況をリアルタイムで発信
- 交通情報：市内道路における交通規制情報や渋滞傾向
- 手ぶら観光情報：手荷物一時預かり及び配送サービス窓口情報



14ページ

観光マナー啓発
(トイレ・ゴミ箱・給水所等)



12ページ

手ぶら観光の推進
(配送・一時預かり窓口)



15ページ

京都観光モラルの普及
(宣言事業者等の紹介)

9ページ

道路の混雑対策
(観光バス駐車場等)



8ページ

観光地の混雑対策
(混雑情報+魅力スポット情報)



2 分野別の観光課題対策

- ・観光地の混雑対策 (8 ページ)
- ・道路の混雑対策 (9 ページ)
- ・市バスの混雑対策 (10 ページ)
- ・手ぶら観光の推進 (12 ページ)
- ・京都駅一極集中の緩和 (13 ページ)
- ・マナー啓発・散乱ごみ対策 (14 ページ)
- ・京都観光モラルの普及 (15 ページ)

課題認識

- ・ 時期や時間の分散傾向が進んでいるものの、依然として主要な観光地に観光客が集中している状況にあることから、更なる分散化の取組が必要。
- ・ 「まるっと京都」は令和6年度の販売率が約6割であり、特別な体験や旬を感じる食事の要素が不足し、価格に見合った付加価値を盛り込んだツアー造成をできていなかったことが要因と推察。他方、目標を大きく上回り販売したツアーもあったことから、魅力的なコンテンツの造成が更なる観光地の分散化に資するものと認識。
- ・ 「とっておきの京都」は認知度の高まりがありつつも、訪問割合を大きく向上させるまでには至っていない。

充実 府市連携による周遊観光「まるっと京都」の展開



○ コンテンツの充実

新たに「川」をテーマとした歴史・文化等に関する体験型ガイドツアーや、京都の川の風景が想起される川魚などを用いたメニューを設定

<実施時期>

11月～1月頃（予定）

○ エリアプロモーション

伏見、大原、高雄、山科、西京、京北の6つのエリアを中心とした市内の多様なエリアにおける奥深い京都の魅力発信に加え、各エリアのプロモーションの実施

<実施時期>

10月頃から順次実施（予定）



継続 朝・夜観光等コンテンツ造成

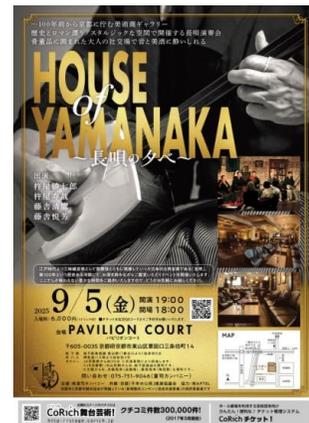
・ 未公開の文化観光資源を活用し、観光コンテンツとして提供したい事業者を募集

・ 令和7年度は、18時以降に限定した「ナイトタイム型」事業への支援を新たに加え実施採択事業者：13事業者（うち、ナイトタイム型7事業者）

<実施時期>

9月5日（金）から順次実施

コンテンツ例（HOUSE of YAMANAKA～長唄の夕べ～）



継続 局所的な混雑が発生している嵐山エリア内の混雑緩和

➡ 嵐山地域の対策（18ページ）参照

継続 京都観光デジタルマップ「京スマ」を活用した混雑情報の発信 「駅スマ」（12ページ参照）と併せて情報発信を強化

継続 ポータブルライブカメラの設置 五条坂バス停留所・京都駅烏丸口タクシー乗り場の混雑状況を配信予定

継続 世界遺産をはじめとした文化財における高付加価値な文化観光推進事業

継続 首都圏を中心とした観光宣伝活動 <実施時期> 「京の夏の旅」7月～9月、「京の冬の旅」1月～3月

継続 安心・安全な京都観光のための情報発信の強化

課題認識

- ・観光バスの路上滞留は減少傾向にあるものの、主要幹線道路を含め、様々なエリアでの路上滞留が散見されている。バス運転手・関連事業者から、駐車場探し等の負担軽減のために、駐車場の満空情報を一元的に発信してほしいとの意見多数。
- ・令和6年度に実施した東大路通社会実験により旅行速度の改善が確認された。更なる混雑緩和に繋がるよう、現地啓発の強化に加え、旅マエの段階から周知を図る必要性を認識。
- ・清水坂観光駐車場で実施している完全予約制について、令和6年秋の利用者から利用時間が短いとの声があり、令和7年春は、新たに3・4時間枠を設けている。引き続き、利用者の意見等や利用実態を踏まえた最適な時間枠設定の検証が必要。

新規 観光バス駐車場の満空情報共有システムの構築

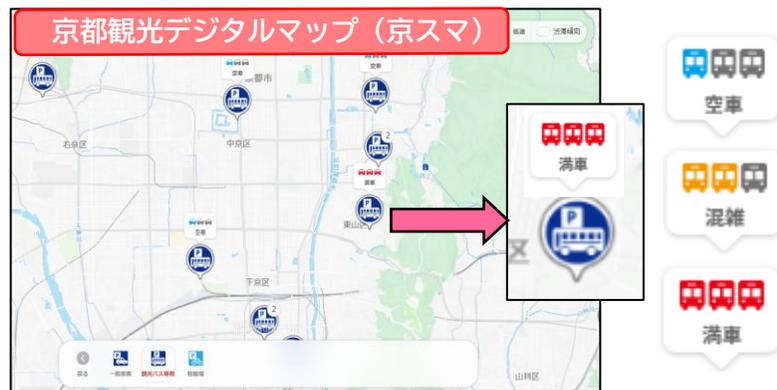
- ・観光バス駐車場の効率的な利用促進等を図るため、京都観光デジタルマップ（京スマ）の中で、京都市内観光バス駐車場の満車・空車情報を一元的に発信
- ・民間観光バス駐車場に加えて、神社仏閣のバス駐車場情報も対象に発信予定

<実施時期> 10月中旬から順次発信開始

充実 観光バス路上滞留現地啓発

啓発エリアを拡大（R6：7エリア→R7：14エリア）して啓発活動を実施

<実施時期> 11月22日(土)～12月7日(日)



充実 東大路通渋滞緩和に向けた迂回誘導の促進

➡ 東山地域の対策（17ページ）参照

継続 東山地域、嵐山地域における交通対策の実施

➡ 東山地域の対策（17ページ）参照
嵐山地域の対策（18ページ）参照

継続 白タク等の駐停車対策（啓発活動等）

- ・近畿運輸局京都運輸支局及び京都府警察と連携し、啓発活動を実施
- ・日本政府観光局（J N T O）の海外事業所を通じて、各国・地域の旅行事業者等に白タクに関する啓発文書を周知

<実施時期>
啓発活動は通年実施、啓発文書は10月中旬発信（予定）

継続 清水坂観光駐車場の完全予約制

- ・令和7年春に実施した利用者アンケート、利用者の声や利用実態を踏まえ、同じ時間枠を設定
- ・バスの駐車容量確保のため、自家用車の受入制限（終日駐車不可）を実施

<実施時期> 10月8日(水)～12月10日(水)

継続 パークアンドライドの推進

- ・情報発信等により、階層的な流入抑制の取組を実施
- ・指定駐車場における駐車料金の無料対応を実施。イオンモール及びタイムズ24と連携したパークアンドライドの取組を実施（予定）

<実施時期> 10月～11月

課題認識

- ・ 市民意見募集における「特に印象に残った観光課題」では、市バスの混雑が約4割を占めている。
- ・ 観光特急バスの利用実績が堅調に推移しており、継続した利用促進の必要性を認識。加えて、鉄道を活かした移動経路の分散、観光シーズンにおける市バス・地下鉄の臨時増発や、お客様案内の充実と継続の必要性も認識。
- ・ GWに実施した各取組の結果も踏まえ、更なる市バスの混雑緩和に資する取組について検討する必要性も認識。

「観光特急バス」の利用促進 ～市民利用と観光利用の棲み分けに向けて～

○ 「観光特急バス」の運行

- ・ 実施日：通年の土曜・休日ダイヤ運行日
- ・ 運行経路：
 - 【EX100号系統】京都駅前～五条坂(清水寺)～祇園～岡崎公園 美術館・平安神宮前～銀閣寺前(32便/日) ※清水道始発8便含む
 - 【EX101号系統】京都駅前～五条坂(清水寺)(16便/日)

○ 新規 「観光特急バス」の運行パターンの見直し (試行実施)

御利用の少ない時間帯のEX101号系統をEX100号系統に振り替え、現在の輸送力を効果的に配分し、利便性を高める。

- ・ 実施日：11月22日(土)～30日(日)の土日祝
- ※重点期間

○ 新規 EX100号系統の経路変更(試行実施)

観光特急バスの速達性と定時性確保に向けて、EX100号系統の京都駅→五条坂間(往路)の経路について、左折に時間を要する五条坂交差点をスムーズに通過するため、EX101号系統と同経路(七条通→東山通経由)に変更。

- ・ 実施日：11月22日(土)～30日(日)の土日祝
- ※重点期間



インバウンドカウンターでPR物を直接手渡しで配布 観光特急バス経路図

○ 充実 「観光特急バス」の利用促進

多言語でのWEB記事掲載をはじめ、鉄道駅や空港、宿泊施設等におけるリーフレットやデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した「旅マエ・旅ナカ」での効果的なPRを実施

○ 効果測定にかかる調査の実施

- ① 旅客流動調査：観光特急バスの詳細な利用状況の調査を全便で行う。
 - ・ 実施日：11月23日(日・祝)
- ② お客様ご利用満足度調査 (Webアンケート)

観光特急バス及び並行する生活系統をご利用のお客様から、Webによるご利用満足度調査を実施

 - ・ 実施期間：5月3日(土)～継続中

地下鉄をはじめとした鉄道を活かした移動経路の分散

○ 市バスから地下鉄への無料振替

- ・ 実施日：11月の土日祝
- ・ 実施停留所：東山三条 (地下鉄東山駅)
金閣寺道 (地下鉄北大路駅)

○ 充実 「地下鉄・バス1日券」の利用促進

多言語でのWEB記事掲載をはじめ、鉄道駅や空港、宿泊施設等におけるリーフレットやデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した「旅マエ・旅ナカ」での効果的なPRを実施【再掲】

○ 「地下鉄・バス1日券」の臨時販売

- ・ 実施日時：11月22日(土)、29日(土)8時30分～正午(JR東海と調整中)
- ・ 実施場所：新幹線京都駅2階コンコース内

○ 周辺部への誘客キャンペーンの実施

「市バス赤字系統の利用促進」と「地下鉄とバスを組み合わせた移動への誘導」の2つの観点の下、山科・醍醐エリア及び洛西エリアへの誘客キャンペーンを実施

- ・ 実施期間：10月～12月(予定)



新幹線京都駅での臨時販売の様子



誘客キャンペーンの様子 (令和6年度実施分)

市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実等

○ 市バスの臨時増発

<東山方面>

- ① 京都駅から東山方面へ、「観光特急バス」や206号系統などの定期便と合わせ、106号系統(楽洛 東山ライン)を臨時増発し、ピーク時には3~4分間隔で運行する。



楽洛 東山ライン

- ・実施日/増回数：御利用状況に応じて、今後調整
- ・運行経路：京都駅前～五条坂(清水寺)～祇園～三条京阪前

- ② **充実** 東山方面から京都駅へ向かう206号系統(区間運行便)を臨時増発する。

- ・実施日/増回数：御利用状況に応じて、今後調整
- ・運行経路：馬町(始発)→東山七条→京都駅前
 <新たに運行> 東山安井(始発)→清水道→東山七条→京都駅前

<金閣寺方面>

- ① 移動経路の分散化を目的に、鉄道駅と金閣寺を結ぶ25号系統等を臨時増発する。

- ・実施日/増回数：御利用状況に応じて、今後調整
- ・運行経路：京都外大前～西大路四条(阪急・嵐電西院駅)
 ～西ノ京円町(JR円町駅)～金閣寺道～北大路バスターミナル(地下鉄北大路駅)

- ② 移動経路の分散化を目的に、鉄道駅と主要観光地間を結ぶ

- 109号系統(楽洛 金閣寺・嵐山ライン)を運行する。
- ・実施日：御利用状況に応じて、今後調整
 - ・運行経路：北大路バスターミナル～金閣寺道～大覚寺～嵐山

○ 地下鉄の臨時増発

烏丸線(国際会館～竹田間) 1日当たり12往復

- ・実施日：11月の土日祝

○ 京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”の活動

京都駅前では、11月は平日も含めて全日配置、観光地最寄りの停留所(祇園・清水道・五条坂等)では、配置場所と配置日数を拡大し、活動の充実を図る。

○ 観光地最寄りのバス停留所における案内員の配置

観光地最寄りの停留所等において、バス待ち旅客の案内・誘導により、停留所付近の環境改善や乗降時間の短縮によるスムーズな運行を目指す。

○ 主要バス停留所及び主要地下鉄駅での案内活動

- ・実施日：今後調整

○ 清水道・五条坂(南行)停留所の運用見直し(試行実施)

GWに実施した取組の結果を踏まえ、清水道(南行)停留所において2か所あるバス停の停車系統を先行・方面別に変更し、観光客の利用の多い京都駅方面行き(Aのりば)と、九条通方面行きに分けることで、分かりやすさの向上や停留所付近の混雑緩和を図る。

あわせて、比較的近い距離にある五条坂停留所を休止し、東大路通南行車線のバスの停車回数を減らすことで、交通の円滑化とバスのスムーズな運行にも努める。

- ・実施日：11月22日(土)～30日(日)の土日祝 ※重点期間



清水道(南行) Aのりば



清水道(南行) Dのりば

○ 清水道南行停留所のバス待ちスペースの設置

昨年秋に引き続き、多くのお客様や歩行者で混雑する「清水道(南行)」停留所のお客様のバス待ち環境と歩道の通行環境の改善を図るため、停留所に近接する駐車場を活用し、バスをお待ちいただくスペースとして運用。

- ・実施日：11月22日(土)～30日(日)の土日祝 ※重点期間



清水道(南行) Aのりば

○ **新規** 京都駅前バスのりば(Dのりば)のバス待ち環境の改善

京都駅前バスターミナルでは「地下鉄・バス1日券」の券売機をD1のりばの南側に設置しているが、多客時には、D1・D2のりばのお客様の待ち列と広場内の歩行者とが錯綜し、混雑しやすい状況にある。このため、券売機を移設することで、のりばの混雑緩和を図る。

課題認識

- ・ 市民意見募集の中で「市バス車内の混雑」に関する御意見が多いことから、引き続き、手ぶら観光の推進は重要と認識。
- ・ 観光客・関連事業者から、京都駅構内のコインロッカーやサービス窓口の場所が分かりにくいという趣旨の御意見に加えて、窓口での手続きの負担に関する声を聞いており、また、観光客からはバゲージロスへの不安の声も聞いている。
- ・ これらを踏まえ、コインロッカーやサービス窓口等への案内誘導の強化や窓口での負担軽減等に資する取組が必要。
- ・ また、昨今の市バス車内に大型手荷物を携行する観光客数等の実態を把握したうえで、施策に反映していくことも必要。

新規 京都駅構内におけるコインロッカー情報等の一元化発信

京都駅構内のコインロッカーの位置や満空情報、手ぶら観光サービス窓口、市バス乗り場等の情報を一元的に発信するとともに、現在地から目的地までの徒歩経路検索も可能な「京都駅デジタルマップ（駅スマ）」を新たに導入（9月26日（金）配信開始）

新規 京都駅周辺の窓口を対象とした事前予約システムの導入

京都駅周辺の手ぶら観光サービス窓口への利用促進はもとより、各窓口での混雑緩和を図るため、新たに事前予約システムを導入（約15窓口を対象に、10月中旬～運用予定）

新規 手ぶら観光サービスが安心安全であることの情報発信

とりわけ外国人観光客の手ぶら観光サービスに対する不安解消等を図るため、新たに当該サービスが安心安全であることの動画を制作・発信（10月下旬から配信予定）

新規 大型手荷物を携行する観光客数等の調査

市バス車内に大型手荷物を携行する観光客数等の実態を把握するため、京都駅B2・D2市バスのりばにカメラ等の機器を新設のうえ、当該情報等を取得・分析

継続 京都駅で「初」となる多機能ロッカーの設置

JR東海が手ぶら観光の推進による市バス等の混雑緩和に向けた取組の一環として、京都駅八条口に多機能ロッカーを新設（6月12日（木）新設）

継続 臨時手荷物配送・預かり所の設置・運営

京都駅ビル駅前広場で、手荷物の宿泊施設への配送・一時預かりサービスを実施（「臨時交通案内所」（13ページ）と連携実施）
 <実施時期> 11月23日（日・祝）～12月7日（日）の土日祝【6日間】

継続 情報WEBサイト「HANDS FREE KYOTO」での情報発信



※ 計7言語（日・英・繁・簡・韓・仏・西）で発信
 アプリインストール不要・利用料無料
 バリアフリールートの経路設定可能

課題認識

- ・「観光客が京都駅に一極集中する」こと、さらに「京都駅を発着する一部のバス路線に観光客が過度に集中する」ことが、公共交通における観光課題の一つと認識。サブゲート（周辺駅）への分散化等を促すため、観光客の「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」という3つの段階に応じた情報発信等を粘り強く行う必要。
- ・令和7年度は万博開催に伴い、例年より混雑が懸念されることから、情報発信の時期についても検討が必要と認識。
- ・また、京都駅は多くの利用者による混雑がみられることから、スムーズな乗継ぎ、乗換えの促進により、混雑の緩和が必要。

新規 京都駅案内表示の充実

J R西日本、京都駅ビル開発株式会社と連携し、京都駅の床面経路表示を整備することで、市民・観光客双方の円滑な移動を促進

<設置内容>

地下鉄、新幹線、バス、タクシー（烏丸口）への案内

<設置場所>

J R京都駅中央口、西口、地下東口等

<完成時期>

9月25日(木)



床面経路表示

充実 関西圏における京都駅を経由しない入洛ルート等の情報発信の強化

令和7年度は、観光シーズンに加え、万博開催期間終盤においても、大阪府内の旅客案内施設・宿泊施設等における情報発信を実施（多言語配信）

<実施時期>

9月1日(月)～

(重点実施期間：9月1日(月)～11月30日(日))



宿泊施設における配架の様子

継続 鉄道事業者等と連携した情報発信

鉄道事業者と連携し、日常生活・出発地、車内・経路、目的地直前の3つの段階に応じた、サブゲートへの分散化を促す情報発信を実施

- ・日常生活・出発地：駅デジタルサイネージにおける発信 等
- ・車内・経路：J R西日本在来線における車内放送 等
- ・目的地直前：新幹線京都駅コンコースに設置した情報案内板による発信 等

<実施時期> 主に11月

充実 デジタル広告による情報発信の強化

令和7年度は、令和6年度に引き続き、日常生活・出発地（旅マエ）の段階で、京都観光を予定する外国人観光客等に対し、デジタル広告

（Facebook、Instagram等）により、サブゲート利用を促す多言語での情報発信を実施する（配信地域：アメリカ、イギリス、オーストラリア、台湾、香港、中国本土）とともに、対象を日本人観光客にも拡大

<実施時期> 主に11月



発信内容（動画）

継続 京都駅前における臨時交通案内所を核とした案内・誘導

<実施時期> 11月22日(土)～12月7日(日)の土日祝【7日間】

継続 京都駅タクシー乗り場における利用者の滞留対策

課題認識

- ・市民意見募集の結果、「観光客のマナー問題」は、昨年度に比べ増加（R6：15.9%⇒R7：22.9%）していることを踏まえると、マナーに対する課題感は依然として根強い。
- ・市民意見募集の結果、「ごみ問題」は、昨年度に比べ祇園地域・嵐山地域で減少（嵐山：▲2.8pt、祇園：▲8.4pt）しており、地域・事業者・行政の3者でタッグを組んだ多様な取組の効果を確認。

充実 地域と連携した市民生活と観光の調和推進事業補助制度

今年度から「散乱ごみ対策に資する取組」を補助事業の一項目として明確化し、必要経費を補助するとともに、その取組内容の検討段階から助言等を行う伴走支援を実施（補助率：対象経費の1/2（上限150万円）。5月から募集開始済）

継続 旅マエから旅ナカまでのマナー啓発

- ・「MIND YOUR MANNERS」等を活用し、本市に訪れる観光客へマナー啓発を実施
- ・京都の観光マナーの更なる周知啓発に加え、実際に京都観光に訪れる観光客に対するダイレクトな情報発信を行う取組を実施



継続 散乱ごみ対策

- ・地域による主体的な取組を検討段階から伴走支援。上記の補助制度も活用し、地域ならではの散乱ごみ対策を企画・実施

<実施時期>
7月以降、順次実施

➡ 嵐山地域の対策（18ページ）参照
祇園地域の対策（19ページ）参照

- ・街頭ごみ容器が溢れて散乱することがないように、ごみ量が多いエリアにおいて、ごみ収集の回数を追加

<実施時期>
11月～12月上旬

上記のほか、主要観光地を中心に、各現場の課題へのきめ細かな対応（以下）を継続

- ・清掃及びポイ捨て防止のためのパトロール
- ・ポイ捨て防止の啓発看板・ポスターの設置
- ・テイクアウト商品を販売する店舗に対するごみ箱設置の要請 等



散乱ごみ対策について
地域・事業者・行政の3者で
話し合う座談会（嵐山）



地域・事業者と連携した
スマートごみ箱の運用
(地域によるごみ袋交換の様子)

新規 「ツーリストシップ」啓発イベント「旅先クイズ会」の開催

一般社団法人ツーリストシップ及び嵯峨美術大学と連携し、市バス・地下鉄の利用に当たって旅行者に發揮していただきたい「ツーリストシップ」について、京都駅前臨時交通案内所において、大型手荷物をメインテーマとした「旅先クイズ会」を開催

<実施日時> 11月23日(日)、24日(月・祝) 9時～13時(予定)

継続 京都市認定通訳ガイドを活用した外国人観光客に向けたモラル・マナー啓発ツアーの実施

課題認識

- ・ 京都観光の行動基準である京都観光モラルの趣旨を更に周知啓発していくためには、行政からの一方向の啓発だけでなく、観光客から次の観光客へ広がっていく事で、京都での振る舞いを自然と観光客に浸透させていく取組が必要。
- ・ 観光客には多様で奥深い京都の魅力、京都観光モラルやマナー、また、市民には観光の意義や効果、京都の魅力再発見につながる情報など、本市が伝えたい情報を確実に届けることが出来るように情報発信する必要がある。

充実 観光客による「京都観光モラル」宣言普及促進事業

京都観光モラルの趣旨等の理解、実践に繋がるよう、クイズ形式による京都観光モラルに関する仕組みを構築

- < 充実内容 >
- ・ 京都観光モラル推進宣言事業者の店舗利用によるポイントの付与（景品の提供）
 - ・ 季節（夏・秋・冬）に応じた景品を選定
 - ・ SNS等を活用した観光客自身による京都観光モラルに即した行動等の発信 等

< 実施時期 >
7月10日(木)から実施中（～3月31日(火)）



継続 市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業

- ・ 海外に設置している海外情報発信・収集拠点（ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シドニー、台北、上海）における京都観光モラルやマナー等に関する情報発信
- ・ 海外有力メディアや海外インフルエンサーの発信力を活用した京都観光モラルやマナー等に関する情報発信



継続 「観光効果の見える化・観光への市民共感」促進事業

昨年12月に開設した市民向けサイト「LINK!LINK!LINK!」において、引き続き観光関連事業者が提供する割引等の市民限定サービスや、観光が京都にもたらす意義・効果、課題とその対策等を発信。



暮らしと観光をつなぐポータルサイト「LINK!LINK!LINK!」

継続 観光事業者による「京都観光モラル」普及促進事業及び優良事業者表彰

< 実施時期 >
6月27日(金)から募集中（～2月27日(金)）

継続 京都観光オフィシャルサイトの運営

3 地域別の観光課題対策

- ・ 東山地域 (17ページ)
- ・ 嵐山地域 (18ページ)
- ・ 祇園地域 (19ページ)
- ・ 伏見稻荷周辺 (20ページ)

プロジェクトチームでは、部会を設置し、上記4地域に京都駅周辺を加えた5地域の対策を検討。京都駅周辺の対策については、以下を参照

- ・ 「市バスの混雑」 (10～11ページ)
- ・ 「手ぶら観光の推進」 (12ページ)
- ・ 「京都駅一極集中の緩和」 (13ページ)

課題認識

- ・東大路通、五条坂を中心に交通渋滞が生じるとともに、二年坂、産寧坂等、清水寺周辺エリア、高台寺周辺エリアにおいても、ゴミのポイ捨て等のマナー違反、局所的な観光客の集中に伴う道路の混雑等が発生している。
- ・東大路通南行（四条～五条間）における交通渋滞の緩和に向け令和6年度に実施した東大路通社会実験により旅行速度の改善が確認されたが、更なる混雑緩和に繋がるよう、現地啓発の強化に加え、旅マエの段階から周知を図る必要性を認識。
- ・清水坂観光駐車場における観光バスの完全予約制により周辺道路の混雑の緩和に一定寄与しているものと認識。引き続き、観光バスの完全予約制を実施する必要性を認識。

充実 東大路通渋滞緩和に向けた迂回誘導の促進

- ・SNS等を活用した情報発信の強化【新規】
- ・電子表示板による情報発信【新規】
- ・広報車、横断幕、プラカード等による周知・啓発【継続】

<実施時期>
10月～11月（予定）



電子表示板設置イメージ

継続 東山地域における交通対策の実施

- ・交通誘導員の配置（東山五条等）
- ・臨時交通規制
東大路通南行から五条坂への左折禁止
国道1号西行から五条坂への右折禁止
東大路通北行から高台寺南門参道への右折禁止

<実施時期>
11月22日(土)～11月30日(日)の土日祝【5日間】



東山五条臨時交通規制

継続 清水坂観光駐車場の完全予約制

新規 観光バスの路上滞留対策

道路の混雑対策
(9ページ) 参照

継続 東山「観光・交通・環境」協力会議による取組

- ・交通誘導員配置事業
<実施場所> 東山五条、二年坂、産寧坂等
<実施時期> 10月25日(土)～12月7日(日)のうち【25日間】
- ・観光客受け入れ支援：学生ボランティアや地域団体と協力して観光案内を実施
<実施場所> 八坂神社、清水寺、東山五条等
<実施時期> 11月15日(土)～11月24日(月・祝)の土日祝【5日間】

学生ボランティアによる観光案内

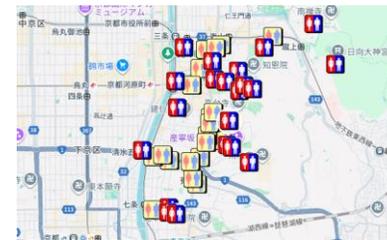


継続 地域と連携した対策

(「地域と連携した市民生活と観光の調和推進事業補助制度」の活用)

○東山「観光・交通・環境」協力会議

- ・「東山観光といれ事業」として、トイレWEBマップを配布
(利用可能なトイレの位置情報等の案内に加え、トイレ利用時のマナーを記載
4か国語対応、「京スマ」にも掲載)



トイレWEBマップ

○桝屋町親交会

- ・維新の道と二年坂の交差点において、タクシー等の停車・乗降及び切り返しが多発していることを受けて、交通誘導員を配置

➡ 「市バスの混雑対策」については、分野別対策（10～11ページ）を参照

課題認識

- ・渡月橋や長辻通、竹林の小径といった特定の場所における観光客の集中に伴い、道路の混雑、散乱ごみ等のマナー違反が生じている。
- ・令和6年度に実施した臨時交通規制等の「道路の混雑対策」、デジタルマップ等を活用した比較的混在していない「嵯峨エリアへの誘客」、地域の事業者と連携した「散乱ごみ対策」により、一定の効果があったものと認識。これらの取組を更に強力に進めていく必要性を認識。

継続 局所的な混雑が発生している嵐山エリア内の混雑緩和

デジタルマップの活用、スタンプラリーの実施

<実施時期>

11月 スタンプラリー開催
(デジタルマップは通年で公開中)



継続 地域と連携した対策

(「地域と連携した市民生活と観光の調和推進事業補助制度」の活用)

○シャトルタクシーの運行 (嵐山保勝会)

- ・長辻通北行き一方通行の実施に伴い、野々宮及び天龍寺前の南行バス停が利用できなくなるため、JR嵯峨嵐山駅、嵐電嵐山駅を周遊するシャトルタクシーを運行

<実施時期> 11月17日(月)~11月28日(金)



シャトルタクシー

継続 嵐山地域における交通対策の実施

- ・長辻通(三条通~丸太町通)の臨時交通規制(北行一方通行の平日拡大及び歩行者専用道路規制)
- ・竹林の小径入口における駐停車対策(電柱幕、看板等の設置)
- ・嵯峨街道の臨時交通規制(南行一方通行の実施)
- ・臨時交通規制に伴う警備・誘導
- ・渡月橋上にダブルスチールフェンスを設置し、歩車分離の実施
- ・丸太町通における自家用車流入抑制

<実施時期> 11月22日(土)~11月30日(日)の土日祝【5日間】

※北行一方通行の平日拡大は11月17日(月)~21日(金)、11月25日(火)~28日(金)



渡月橋における歩車分離



歩行者専用道路規制

○広域観光案内・嵐山地域ゴミ箱マップのリニューアル (嵐山保勝会)

- ・新設したスマートごみ箱や喫煙所の場所を追記して増刷(20,000部。3か国語)し、ホテル等の宿泊施設や飲食店に配布

<実施時期> 9月下旬から配布



ゴミ箱マップ

○散乱ごみ対策 (嵐山商店街)

- ・地域、事業者、行政の3者が集う「嵐山ごみ課題サミット」の開催を重ね、地域ならではの対策を議論(R7は計4回開催済み)
- ・昨年度実施した「クリーンタイム」「ハートバック制度」等を充実するとともに、商店街共通の事業者によるごみ箱の設置や、ごみ減量につながる食べられる容器等の試験導入など、新たな取組にもチャレンジ予定(具体化できるものから順次実施)



嵐山ごみ課題サミット

課題認識

- ・ 祇園地域は、特定の観光資源が観光客を呼び込んでいるものではなく、洗練された町並みを求めて観光客が集中している。
- ・ 地域からも「ここは日常生活の場であり、テーマパークではなく、生活する人々の暮らしに配慮するよう」メッセージが出されているものの、依然として多くの観光客が集中しており、それに伴い、ゴミのポイ捨てや私道への立ち入り等のマナー違反が生じており、引き続き、地域の声を聞きながら、連携して取り組みを講じていく必要性を認識。

継続 地域と連携したマナー啓発

（「地域と連携した市民生活と観光の調和推進事業補助制度」の活用）

○ 祇園町南側地区協議会

- ・ 地域行事の際に、マナー啓発と同時に交通混雑の緩和を図るための啓発員を配置



八朔の際の啓発員の様子

- <実施時期>
 8月1日(金) (八朔)
 12月13日(土) (事始め)
 1月7日(水) (始業式)
 2月3日(火) (節分)

- ・ 啓発効果が高い高札（私道における写真撮影や進入禁止を啓発）の追加設置



高札設置イメージ

- <実施時期>
 11月頃

継続 花見小路周辺へのマナー啓発員の配置

- ・ 「祇園町南側地区からのメッセージ」（令和5年12月）を踏まえて、引き続き、観光シーズンにマナー啓発員を配置

- <実施時期>
 10月1日(水)～10月8日(水)の平日（国慶節に合わせた実施）
 11月19日(水)～12月12日(金)の平日（秋の観光シーズンに合わせた実施）

新規 地域・事業者との3者連携による散乱ゴミ対策

○ 祇園商店街のごみ箱設置

- ・ 祇園商店街振興組合・京都環境事業協同組合・本市の3者連携により、協力店舗に商店街共通のごみ箱を設置する取組を開始（本市が取組全体をコーディネート。商店街の協力店舗がごみ箱を設置・管理し、ごみ収集を協同組合が調整・手配）



商店街共通のごみ箱

- <実施時期>
 11月～
 （7月から一部店舗で試験運用中）

継続 地域主体の清掃活動

○ 祇園青龍組の清掃活動

- ・ 祇園商店街振興組合の有志「祇園青龍組」が主体となり、周辺の地域住民、学生、本市職員等多数参加の下、毎週水曜日早朝に祇園地域を中心とした一斉清掃を実施、四条通だけでなく活動範囲も拡大



祇園青龍組の清掃活動

継続 東山「観光・交通・環境」協力会議と連携した対策

➡ 東山地域の対策（17ページ）参照

課題認識

- ・国内外から多くの観光客・参拝客の来訪に伴い、周辺道路の混雑（観光バスの路上滞留を含む。）、広がった歩行、周辺の渋滞が発生するとともに、観光客によるごみのポイ捨て等のマナー問題が発生している。
- ・解決に向けた取組を講じていく際には、公共交通機関、伏見稻荷大社、地域団体等、関係団体との緊密な連携による取組の必要性を認識。

継続 地域と連携した対策

（「地域と連携した市民生活と観光の調和推進事業補助制度」の活用）

○伏見稻荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会

- ・シルバー人材センターによる観光客の歩行マナーの指導、客待ちタクシー等への声掛け指導、ポイ捨て禁止等のマナーアップ啓発を兼ねた清掃活動の実施

<実施時期>

4月1日(火)～3月31日(火)

- ・多言語観光マナー啓発ポスターの作成（75部。3か国語）

<実施時期>

10月下旬頃～3月末



啓発ビブスを着用し、清掃活動をする様子

新規 近畿運輸局と連携したマナー啓発

- ・国の「観光ピクトグラム」等のコンテンツを活用し、近畿運輸局と連携して伏見稻荷大社周辺での実証事業を実施

- ・周辺店舗の協力を得て、ごみ箱型、ステッカー、看板、横断幕等の観光ピクトグラムを掲示

<実施場所>

踏切・道路等の危険箇所、散乱ごみ等が懸念される箇所、商店街の店先等

- ・龍谷大学と連携し、設置場所ごとに最適なピクトグラム、啓発物の形状を検討

<実施時期>

11月初旬～12月初旬



観光ピクトグラム



ごみ箱

継続 伏見稻荷大社等による警備員・誘導員の配置

- ・伏見稻荷大社において、周辺に警備員を配置。土日祝や祭事の際は増員対応。
- ・龍谷大学、鉄道等関係機関がそれぞれ誘導員を配置。

<実施時期等>

検討中

新規 龍谷大学と連携した観光客の分散化

- ・「伏見区区民活動支援事業」、「京都未来人材育成プロジェクト事業費補助金」を活用した取組を実施

- ・伏見稻荷大社周辺から隣接する深草周辺地域への観光客誘導による分散化を目指すスタンプラリー等を実施

<実施時期> 10月頃実施（予定）



取組の一例（ワークショップのチラシ）

4 モニタリング項目等

- ・ 令和12年に向けて目指す値 (22ページ)
- ・ モニタリング項目 (1) (23ページ)
- ・ モニタリング項目 (2) (24ページ)
- ・ モニタリング項目 (3) (25ページ)

「京都観光・MICE振興計画2030」（仮称）で推進する3つのプロジェクト（2ページ参照）のそれぞれに、「令和12年に向けて目指す値」を設定。長期的にはこの値に留まらず、可能な限り数値を伸ばすよう取り組んでいく。

「市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム」に関連する「目指す値」は次のとおり。

本案は、今後、「京都観光振興審議会」での議論やパブリック・コメント等を経て、令和7年度末に確定させる予定。

< 令和12年に向けて目指す値（案） >

○京都観光に関する市民意識調査「混雑やマナー違反に迷惑している市民の割合」

（直近値） R5：(80.5%)、R6：(83.1%)

（目指す値） R12：50.0%

※ 「公共交通機関の混雑」「道路の混雑」「一部観光地の混雑」「観光客のマナー違反」のうちいずれか1項目以上で「大変迷惑している」又は「迷惑している」と回答した市民の割合（R6までは「迷惑した」かどうかを調査）

○京都観光に関する市民意識調査「観光が重要な役割を果たしていると思う市民の割合」

（直近地） R5：72.7%、R6：70.6%

（目指す値） R12：75.0%

< 観光地の混雑対策関連 >

○位置情報データやA Iカメラデータを用いた訪問者数の比較

- ・携帯電話の位置情報データや、市内約30か所に設置しているライブカメラ映像をA I画像解析したデータを用いて、各地点における訪問者数を把握する。
(R6秋の京都駅周辺における対前年同期比) 日本人：+1% 外国人：+26%

○京都観光総合調査「観光客の月別繁閑差」

(閑散期と繁忙期の差) H15：3.6倍 R1：1.3倍 R6：1.3倍

○京都観光総合調査「朝観光を体験した観光客の割合」

(直近値) R5：日本人 33.8% 外国人 69.6% R6：日本人 32.5% 外国人 69.4%

○京都観光総合調査「夜観光を体験した観光客の割合」

(直近値) R5：日本人 35.1% 外国人 78.7% R6：日本人 36.5% 外国人 78.9%

○京都観光総合調査「「とっておきの京都」エリアを1つ以上訪問した日本人観光客の割合」

(直近値) R5：11.9%、R6：12.1%

○京都観光に関する市民意識調査「一部観光地の混雑を経験して迷惑している市民の割合」

(直近値) R5：(66.4%)、R6：(71.4%) ※R6までは「迷惑した」かどうかを調査

< 道路の混雑対策関連 >

○京都観光に関する市民意識調査「道路の渋滞に迷惑している市民の割合」

(直近値) R5：(61.1%)、R6：(60.3%) ※R6までは「迷惑した」かどうかを調査

○観光バス路上滞留啓発件数

観光シーズンに市内各所で実施している啓発活動のうち、主要幹線道路における啓発件数（1日当たりの件数）

(直近値) 御池通 R5：82件、R6：51件 烏丸通 R5：37件、R6：38件 五条通 R5：49件、R6：41件

< 道路の混雑対策関連 >

○清水坂観光駐車場と東大路通間の所要時間

駐車場と東大路通間の約300mの平均所要時間（（ ）内は完全予約制実施前との比較）

（直近値）	R6秋（完全予約制実施前）	東行（上り）	6分56秒	西行（下り）	19分33秒
	R6秋（ 〃 実施中）	〃	3分03秒（△56%）	〃	11分39秒（△40%）
	R7春（ 〃 実施中）	〃	2分46秒（△60%）	〃	8分09秒（△58%）

○清水坂観光駐車場の駐車時間枠に関わるアンケート

アンケート結果（347件）	2時間枠のみ+2時間枠の増を希望	39%	3時間、4時間枠の増を希望	29%
うち修学旅行に限る（50件）	2時間枠のみ+2時間枠の増を希望	28%	3時間、4時間枠の増を希望	33%

< 市バスの混雑対策関連 >

○市バス・地下鉄の旅客数

（直近値）市バス：(R5決算)333千人	(R6決算)340千人
地下鉄：(R5決算)385千人	(R6決算)402千人

○観光特急バスの利用者数

（直近値）R6秋：3,340人/日（11/2～12/1）、R7春：3,019人/日（3/22～4/6）

○京都観光に関する市民意識調査「公共交通機関の混雑を経験して迷惑している市民の割合」

（直近値）R5：(62.4%)、R6：(67.0%) ※R6までは「迷惑した」かどうかを調査

< 手ぶら観光の推進 >

○大型手荷物の携行者数

観光シーズンにおいて、京都駅バスのりば（D2のりば）の乗客数に対する大型手荷物携行者の割合
（直近値）R6秋：約2%、R7春：約4%、R7GW：約2%

< 京都駅一極集中の緩和 >

- 京都観光に関する市民意識調査「公共交通機関の混雑を経験して迷惑している市民の割合」【再掲】
 (直近値) R5 : (62.4%)、R6 : (67.0%) ※ R6までは「迷惑した」かどうかを調査

< マナー啓発・散乱ごみ対策 >

- 京都観光に関する市民意識調査「観光客のマナー違反に迷惑している市民の割合」
 (直近値) R5 : (47.7%)、R6 : (55.0%) ※ R6までは「迷惑した」かどうかを調査
- マナー啓発員による啓発件数（祇園町南側地区）（1人日当たりの啓発件数）
 (芸妓・舞妓への無許可の写真撮影) R6春 : 2.4件、R6秋 : 1.2件、R7春 : 1.1件
 (禁じられた場所の写真撮影) // : 8.6件、 // : 7.6件、 // : 10.5件
 (道路（主に車道）をふさぐ行為) // : 11.6件、 // : 11.5件、 // : 19.9件
 (食べ歩き) // : 12.0件、 // : 5.5件、 // : 14.2件
 (団体・集団への移動願い) // : 12.0件、 // : 5.5件、 // : 14.2件
 (その他（無断地入・覗き込み）) // : 14.1件、 // : 6.1件、 // : 14.4件
- 京都観光総合調査（外国人の満足度）「まちの清潔さ」
 (直近値) R5 : 70.7% R6 : 67.4%

< 京都観光モラルの普及 >

- 京都観光事業者実態調査「「地域との調和」につなげる行動をとっている事業者の割合」
 (直近値) R5 : (51.0%)、R6 : (49.0%) ※ R7から設問設計を変更のうえ調査予定
- 京都観光総合調査「訪問地域を思いやる行動をとった観光客の割合」
 (直近値) R5 : 日本人 67.0% 外国人 80.2% R6 : 日本人 67.6% 外国人 75.5%
- 京都観光総合調査「意識して混雑を避ける行動を取った観光客の割合」
 (直近地) — ※ R7から新たに調査中
- 観光客による京都観光モラル宣言者数
 (直近値) R6 : 1,623人 (日本人 : 1,412人 外国人 : 211人)
- 京都観光に関する市民意識調査「京都市が観光で評価されることを誇りに思う市民の割合」
 (直近値) R5 : 64.9% R6 : 65.8%
- 京都観光に関する市民意識調査「市民による市内観光の頻度」（半年に1回以上）
 (直近値) R5 : 44.9% R6 : 44.3%

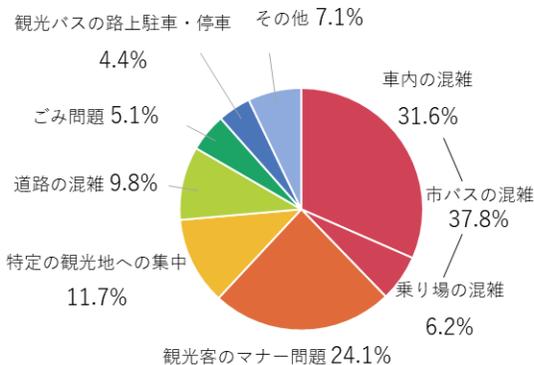
5 市民意見募集の結果

市民意見募集※の結果（「特に印象に残った観光課題」）

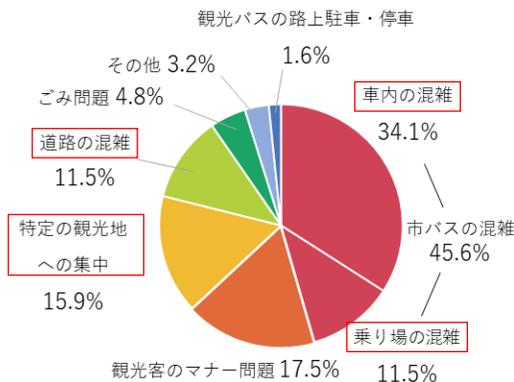
※「観光課題とその対策等に関する御意見の募集」（令和7年4月30日報道発表資料）参照

- 回答数は1,302件（9月時点）。昨年度は約637件。
- 回答者の年齢層では、40歳代が最多（24.9%）で、30代～60代を中心に回答が集まった。回答者の居住地に関する項目では、市内在住者は88.8%、市外在住者（市内に勤務・通学、観光客など）は11.2%。
- 観光課題を経験した場所では、東山地域（19.4%）が最多、続いて京都駅周辺（17.6%）。
- 昨年度と同様に、「特に印象に残った観光課題」は地域ごとに異なる結果となった。

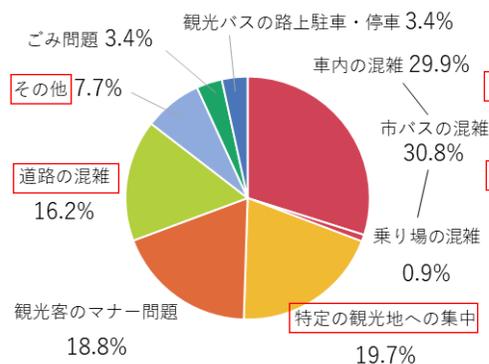
全体
(回答数：1302件)



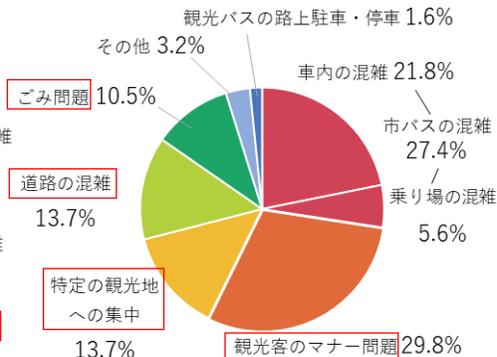
東山地域
(回答数：252件)



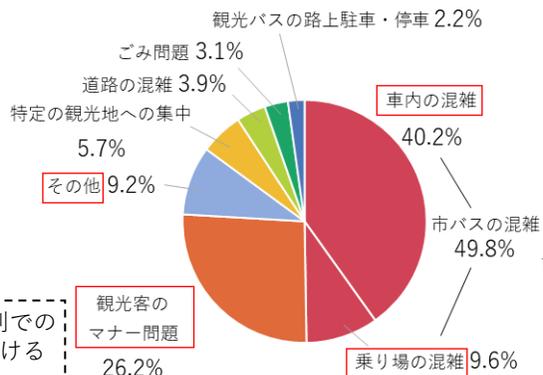
嵐山地域
(回答数：117件)



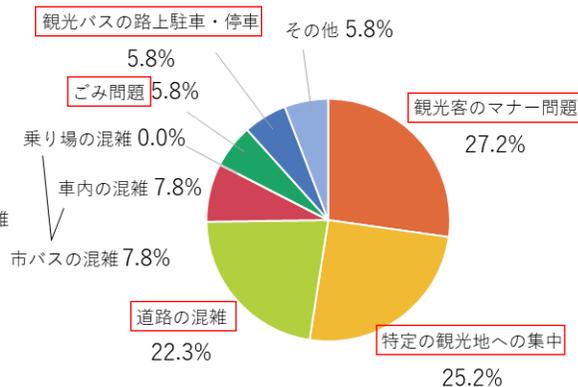
祇園地域
(回答数：124件)



京都駅周辺
(回答数：229件)



伏見稲荷周辺
(回答数：103件)



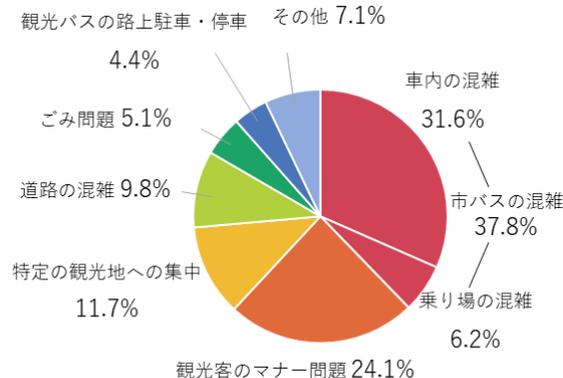
は地域別での数値が全地域における割合より高い項目

【全体】

- ・「市バスの混雑」は5.3pt減
→依然として高い数値ではあるが、東山地域、京都駅周辺でそれぞれ割合が減っており、全体としても減少傾向
- ・「観光客のマナー問題」は8.2pt増
→主要5地域のうち、嵐山地域以外では全て上昇しており、課題がより顕在化している。

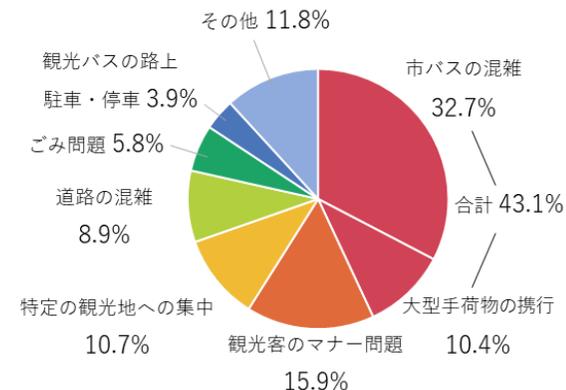
令和7年度（今回）

（回答数：1,302件）



令和6年度（前回）

（回答数：637件）



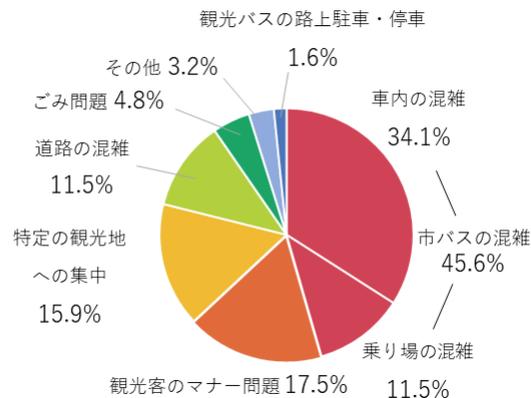
注：7年度の「市バスの混雑」は6年度の市バスの混雑、大型手荷物の携行の合計値と比較（7年度は、回答項目から「大型手荷物の携行」を削除し、「市バスの混雑」に統合）

【地域別①】 東山地域

- ・「市バスの混雑」は5.0pt減
→減少傾向であるが、依然として高い数値
- ・「観光客のマナー問題」、「特定観光地への集中」、「道路の混雑」は11~17%
→数値の若干の増減はあるものの、依然として課題となっている。
- ・「ゴミ問題」が3.6pt増
→割合は高くない（4.8%）ものの、昨年の1.2%から増加している。

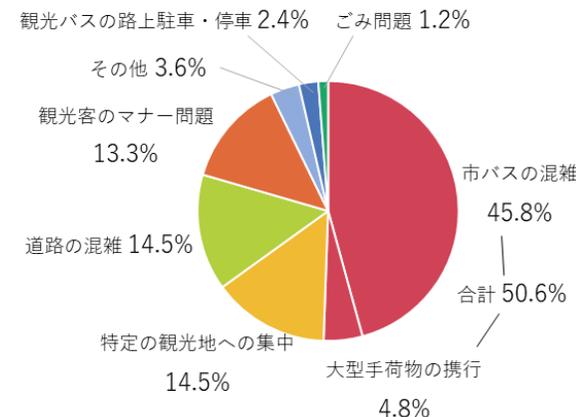
令和7年度（今回）

（回答数：252件）



令和6年度（前回）

（回答数：83件）

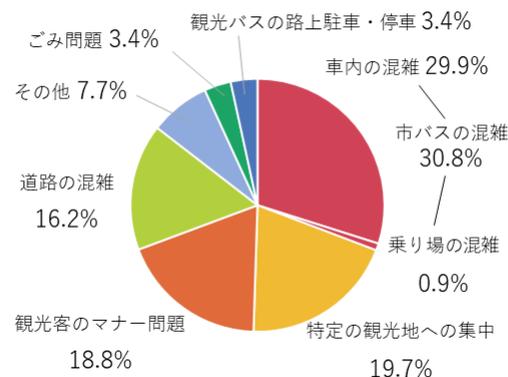


【地域別②】 嵐山周辺

- ・「市バスの混雑」は30.8%（11.6pt増）
→ 昨年の19.2%から大きく増加
30.8%のうち、車内の混雑は29.9%
- ・「観光客のマナー問題」、「特定観光地への集中」、「道路の混雑」は16%～19%
→ 数値の増減はあるものの、依然として高い割合となっており、課題となっている。
- ・「ごみ問題」が3.0pt減
→ 昨年の6.4%から半分近く減少

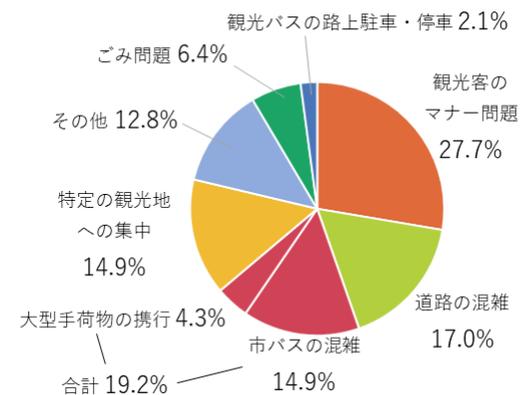
令和7年度（今回）

（回答数：117件）



令和6年度（前回）

（回答数：47件）

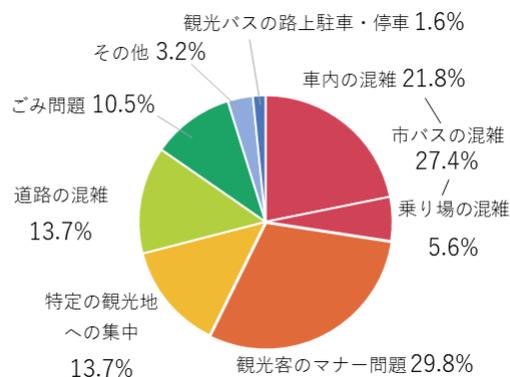


【地域別③】 祇園地域

- ・「市バスの混雑」は27.4%
→ 若干の減（2.2pt）はあるが、依然として高い割合となっている。
- ・「観光客のマナー問題」、「道路の混雑」はいずれも10pt近い増
→ 増加傾向となっており、課題がより顕在化している。
- ・「ごみ問題」が9.2pt減
→ 昨年の19.7%から半分近く減少

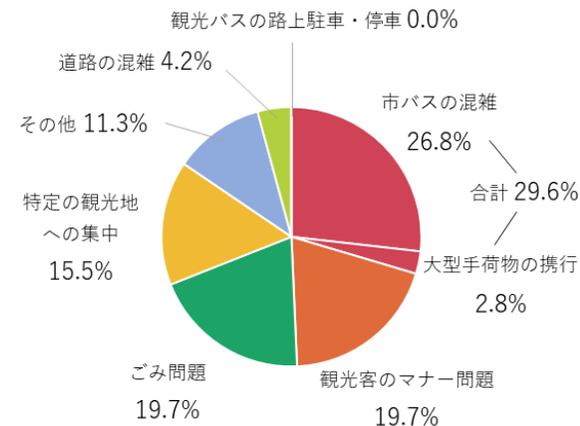
令和7年度（今回）

（回答数：124件）



令和6年度（前回）

（回答数：71件）

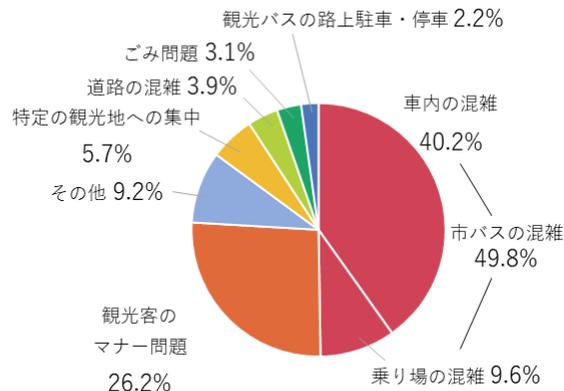


【地域別④】 京都駅周辺

- ・「市バスの混雑」は13.4pt減
→減少傾向であるが、依然として高い数値。
49.8%のうち、乗り場の混雑は9.6%と他地域と比べて高い割合となっている。
- ・「観光客のマナー問題」が13.9pt増
→増加傾向となっており、課題がより顕在化している。
- ・「ごみ問題」、「観光バスの路上駐車・停車」が微増

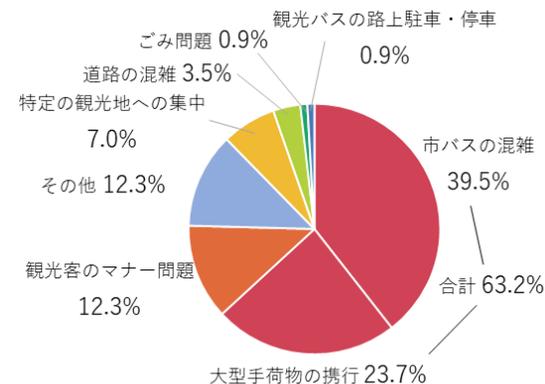
令和7年度（今回）

（回答数：229件）



令和6年度（前回）

（回答数：114件）

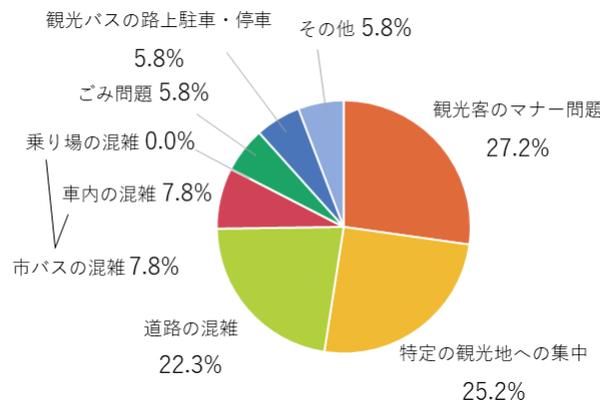


【地域別⑤】 伏見稻荷周辺

- ・「特定の観光地への集中」は6.5pt減
→減少傾向であるが、依然として高い数値
- ・「観光客のマナー問題」、「道路の混雑」は20%以上、特に「観光客のマナー問題」は7.7pt増
→数値の増減はあるものの、依然として高い割合となっており、課題となっている。

令和7年度（今回）

（回答数：103件）



令和6年度（前回）

（回答数：41件）

